

② チーム分け

- a) チーム分けは、ゲームコンダクターの采配のもとで行うものとし、自己都合による特定チームへの参入並びに入れ替わりは認めません。
- b) チームを区別するためのマーカーは各自で用意してください。市販のマーカーを推奨しますが、赤・黄のビニールテープ又はガムテープでもOKです。マーカーの巾は2 cm以上のもので、左右の上腕部（又は手首）等によく見える様にとめて下さい。
- c) ゲームの推移によってチームの戦力に明らかな『差』がある場合には、ゲームコンダクターの判断によりメンバーのトレード等によって均衡を計ることがありますのでご了承ください。

③ ゲーム方式

- a) 殲滅戦（使用するウェポンの発射方式を限定しない、フルオート、セミオート、コッキングいずれも可）
- b) 殲滅戦（使用するウェポンの発射方式をセミオート、コッキングに限定）
- c) 殲滅戦（使用するウェポンをハンドガンに限定）
- d) バトルロワイヤル戦（使用するウェポンを限定することがあります）
- e) 弾数制限戦（上記 a～d を弾数を制限して行います）
- f) その他、面白そうなゲーム方式がありましたらご提案ください。

④ ゲームの開始と終了

各チームがそのスタート地点の半径5 m以内に集合し、互いに声を掛け合い、『スタート』の号令でゲームが開始されます。
この『スタート』の号令から10分で1ゲームが終了です。
通常、この後陣地を入れ替えてもう1ゲーム行い、これを『1セット』と呼び、これが終了するとインターバルになります。
ただ、稀に2セット連続とか3セット連続ってこともありますので、ご留意ください。

⑤ ヒット

敵が発射したBB弾を、直撃弾・跳弾を問わず身体の一部あるいは装備品、所持しているガンの何れかに被弾したものは、即座に出来るだけ大声で『ヒット』を宣言するとともに大きなジェスチャーで“戦死”をアピールしなければなりません。そして少なくとも片手、出来るだけ両手を挙げ、他のゲーマーの邪魔にならないように速やかにセーフティゾーンにもどります。(この時、ゴーグルはじめ安全面での防具ははずさないでください)

不幸ににして味方に撃たれた場合(フレンドリーファイヤー)も同様です。

“相撃ち”の時は基本的に両者“戦死”とします。

“戦死者”は戦死した時点で、敵・味方の区別無く一切の情報を提供するような発言は禁止です。死して語らず！！

⑥『フリーズコール』=被弾によらない“戦死”

当地では『フリーズコール』を認めています。これは近距離での接射による危険を避ける為です。これが成立するのは、静止している相手その後方又は側面から接近した(概ね2~3m)射撃体勢を整えている自分の存在に気がつかず、反撃の余地がない時です。極めて当たり前のことですが、『フリーズコール』された方は通常ヒットと同様“戦死”を認め退場することになります。(この場合ヒットコールはしてはなりません)

又、稀にですが、射撃体勢をとって静止している自分の正面に、その存在に気づかずに相手がもう撃てないくらいの距離まで接近してきた場合も同様とします。

ただし、まかり間違っても反撃体勢をとろうとか、逃走しようとした場合には、止むを得ませんので射撃にてゲットしてください。

これらとは別のケースで、たまたま出くわしてしまったとか、気がついたら相手が正面にいたとかの場合にはやはり接射による危険を避けるために俗に言うところの『あうんの呼吸』ってやつで、両者潔く“戦死”するということを推奨していますが、もちろん撃ち合っても構いません。

⑦ゾンビ

被弾したにもかかわらず『ヒットコール』をせず“戦死”を認めない場合は“ゾンビ”という汚名を被ることになります。

今さら言うまでもありませんが、サバイバルゲームは数あるスポーツの中で数少ない“審判(レフェリー)”のいない『自己申告制』の競技なので、あくまでも紳士的な態度で臨むのが大前提です。

“ゾンビ”行為に対しては、基本的に無意識にしてしまったものと“善意”に解釈するよう努めています。例えば、ブッシュ越しです

とか、逃走途中であるとか、スタートダッシュ時であるとか、装備品とかに直撃弾ならまだしも跳弾だったりするとかという場合にはなかなか解かりづらいこともあるからです。

しかし、あくまでも“ゾンビ”は明らかな反則行為であります。複数の明白な証言を得られる場合には当日のゲームコンダクター（進行役）又はCEOに報告をしてください。要注意ですが、万が一にも当事者同士で話をするのは厳禁です。しかるのち、最悪の結果として運営役員会（後述）の合議又はCEOの判断によって過度と認められるゲーマーには誠に遺憾ながら参加を拒否することもあります。

⑧ ゲームの中断

ゲーム中のフィールド内で一般の人を発見したら、即座に『ハイカーストップ』の号令をかけてください。取り合えず次の指示があるまで全員その場で待機です。あとはゲームコンダクター（進行役）の指示に従うことになります。

集中的な降雨により、ゲームの続行が不可能と判断される時には『ゲーム中止』の号令をかけてください。その後は上記と同じです。